

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	0173600420		
法人名	医療法人社団延山会		
事業所名	グループホームCoCoすみかわ		
所在地	苫小牧市澄川町7丁目6番15号 (電話) 0144-67-3111		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年11月22日	評価確定日	平成19年12月26日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成12年5月18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	11 人	常勤 4人, 非常勤 7, 常勤換算	4.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000~46,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 450 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり		1,100 円

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	6 名	男性 0 名	女性 6 名
要介護1	0	要介護2	0
要介護3	0	要介護4	5
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 88.1 歳	最低 84 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団延山会苫小牧澄川病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は住宅街に立地し、平屋建てで事業所内全体が明るく落ち着いた造りになっている。併設している医療機関や介護老人保健施設とも連携が取れており、利用者本人・家族の安心に繋がっている。また、職員は利用者の尊厳を大切に、熱意を持ってケアサービスの質の向上に取り組んでいる。今後も地域に溶け込んだ暮らしの実現が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題であった居室・トイレの表示について、職員間で話し合い即座に改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で話し合いながら自己評価に取り組み、質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議で事業所の運営状況・活動等について報告している。また、会議の構成員にも事業所の行事に参加してもらい、意見交換を行っている。そこで出た意見を事業所の運営に活かし、更なる質の向上に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族宛てに便りを送付したり、来訪時や家族会開催時に職員は積極的な声かけをし、家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>当事業所は設立当初から町内会に加入しており、町内の行事や活動に積極的に参加している。また、事業所便りを町内にも回覧するなど、地域との交流を図っている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から地域との関わり合いを重要視した事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に全職員で理念を復唱して確認し、日々実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、町内の行事や活動に積極的に参加している。また、事業所の行事に近隣住民が参加するなど、地域との交流が図られている。	○	今後、地域住民と接する場を多く設け、事業所への理解をより一層深めてもらうような取り組みが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で話し合いながら自己評価に取り組み、質の向上を目指している。また、前回の評価結果を踏まえ、改善に繋がるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議において事業所の運営状況・利用者の状況・外部評価の結果等について報告し、活発な意見交換を行っている。また、そこで出た意見を事業所の運営に活かし、質の向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>苫小牧市グループホーム連絡協議会や市の担当者と相談や報告等で連絡を取る機会が多く、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に報告している。また、家族来訪時に利用者の様子を伝えたり電話連絡も行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時や家族会開催時に職員は積極的な声かけをし、家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。また、家族から意見等を受けた場合は職員間で話し合い、改善に取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限に抑えるよう努めている。また、異動等があった場合は前任・後任の職員が重複して勤務する期間を設けるなど、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験に応じた法人内部・外部研修に参加する機会があり、職員は積極的に受講している。受講後は研修内容を報告し、他の職員への共有が図られている。また、研修報告書は整備されており、いつでも閲覧できるようになっている。</p>	○	<p>今後も定期的に研修会等に参加し、全職員が質の向上に取り組むことが期待される。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会主催の研修会や交流会等を通じて同業者と接する機会が多くあり、意見交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員は事前に利用者本人・家族と面談し、顔馴染みの関係を築いてからの入居となるよう配慮している。また、併設している介護老人保健施設を利用してからの入居とするなど、利用者が徐々に事業所の雰囲気馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者の力を最大限活かせるような支援を心がけている。また、日々の暮らしにおいて利用者から教えてもらう場面もあり、支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活歴を基に本人の表情や行動等からも意向の把握に努め、その人らしい生活となるよう支援している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の意見・希望を採り入れ、担当医や関係者とも話し合いながら介護計画を作成している。また、毎月開催しているカンファレンス時において情報の共有を図っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の状況変化や家族の要望に応じてそのつど話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外出や外泊時の送迎や家族が事業所に宿泊する際の食事の提供など、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	併設している協力医療機関での受診支援を行っており、医師・看護師とも連携が取れている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	利用者の状況に応じて家族・医師・ソーシャルワーカーと話し合い、方針を定めて共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りを損ねることのないような対応を心がけている。また、個人情報保護に関しても全職員と誓約書を交わしており、適切に取り扱われている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者のペースを大切に、その人らしい暮らしとなるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の健康状態に合わせて刻み食やミキサー食を提供するなど、調理方法に配慮している。また、献立内容・味付け・盛り付け等にも工夫し、食事が楽しみなものになるよう配慮している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や体調を確認しながら週に2回の入浴支援を行っている。また、入浴剤を使用するなど入浴を楽しめるよう工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩や行事の開催などの楽しみごとや、利用者の力を出来る限り活かせるような役割の支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調や天候を考慮し、職員の声かけにより散歩するなど、日常的に戸外にでかけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由から夜間帯は施錠しているが、日中は鍵をかけておらず、自由に出入りができるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回、消防署の協力のもと避難訓練を行っている。また、運営推進会議においても緊急時に地域からの協力が得られるよう働きかけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を毎日記録しており、職員は情報を共有している。また、併設している医療機関でカロリー計算された表に基づいて献立を作成しており、バランスの摂れた内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には長いですが設置されており、利用者がゆったりと寛げるようなスペースが確保されている。また、事業所内の窓からは家庭菜園が眺められ、季節感を感じられるような造りになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家具・写真・置き物など、利用者の馴染みの物が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。